

青少年ネット環境整備タスクフォース

関連取組み（経過報告）



2017年6月12日

安心ネットづくり促進協議会

安心協での啓発取り組み（再掲）

総務省TF「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関する論点とその解決に向けた方向性」（2016/7/29）に対し、安心協での取り組みについて下記のように整理された。

No.	提言項目	関連アクション
1	教材に掲載することが望ましい必須項目（※）を、関係機関が主体となって洗い出し、何かしらの基準（又はメルクマール）を策定する ※実例を含む情報モラル育成に向けた内容、フィルタリングの有効性等	教材チェックシートの策定と展開
2	全般的な啓発教材の充実・現行化を促す観点から、作成主体自らによる教材の自己点検を早急に実施する	上記チェックシートを使った自己点検ガイド策定と展開
3	学校や自治体、個人が、一定水準を満たす教材を自由に選択し使用できる環境を実現するため、各団体・事業者が定める教材の他者への使用基準の見直しを行うとともに、これらの情報の集約とウェブサイト等を活用した公表・周知を積極的に行う	学習コンテンツ一覧の棚卸と検索改善
4	各事業者が行う各種啓発講座について、時期、場所、対象や内容を含む情報を集約の上、ウェブサイト等を活用した公表・周知を行う	出前講座一覧の棚卸と検索改善
5	学校や自治体、個人が、適切な教材・講座を利用できるよう、教材内容の水準を満たすとともに公表されている教材・講座に対して、関係機関による共通のマークを付与することについての実現可能性の検討を開始する	チェックシート、自己点検の将来像として今後検討
6	各団体・事業者が実施している各種啓発講座について、各団体、関係者間においてキーメッセージの統一や、青少年の利用するメディア等を用いた共同での広報等を実施する	フィルタリング新モードにかかる啓発
7	従前以上に保護者・教育関係者の理解向上に配慮した取組を実施すべき	低年齢子ども保護者向け啓発資料策定と展開

安心協での啓発取り組み（進捗報告）

No.	アクション項目	進捗状況
1	教材チェックシートの策定と展開	教材チェックシートの策定と展開 →関連サブワーキングで最終化、安心協HPにて6/6公開済
2	上記チェックシートを使った自己点検ガイド策定と展開	上記チェックシートを使った自己点検ガイド策定と展開 →サブワーキング関係事業者にてTrial点検を実施 安心協HPの学習コンテンツ一覧へ結果反映を検討中
3	学習コンテンツ一覧の棚卸と検索改善	学習コンテンツ一覧の棚卸と検索改善 →HP改修済み
4	出前講座一覧の棚卸と検索改善	出前講座一覧の棚卸と検索改善 →HP改修済み
5	教材選択の判断材料となるべく、教材水準の評価結果を共通のマーク化し付与	チェックシート、自己点検の将来像として今後検討
6	フィルタリングにかかる啓発	→フィルタリング関連Webページの改修 統一名称、「SNS利用リスクと対策」リンク等（今後も順次追加）
7	低年齢子どもの保護者向け啓発資料策定と展開	4P版（低学年向け）1月リリース、6月改定（YouTube Kids対応） 8P版（乳幼児向け）2月リリース、6月改定（同上） →春の一斉行動、キャラバン隊、幼小研修会などで約15000部展開
8 (新)	利用者の学習支援とリテラシー評価	安心協ILAS等のノウハウを活用したオンライン学習と理解度チェック、その有効性検証への取り組みを開始。

個別進捗

1.教材チェックシートの策定と展開

「啓発教材自己チェックリスト」を安心協webページで公開

自己チェックの目的

(1) ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検（セルフチェック）を行い、教材の改善を図っていくことで、全般的な啓発教材の質の向上を目指す。

(2) 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

チェックリスト

2017.6 ver

1億人のネット宣言
もっとうぐっどネット

啓発教材自己チェックリスト

会署名: _____
教材名: _____
実施日: _____

自己チェックの目的
1. ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイント(チェックリスト)としてまとめ、作成主体自らが自己点検(セルフチェック)を行い、教材の改善を図っていくことで、全般的な啓発教材の質の向上を目指す。
2. 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

本チェックリスト利用上の注意
本チェックリストは、教材作成を行う上で作成者自身が最低限考慮すべきポイントが盛り込まれているかを確認する事ができるようにチェックリスト形式でまとめたものです。啓発活動を行うための運営情報までは記載されておりません。
また、点検による点検・評価を目的としたものではありません。教材を作成し、改善されたい事を目的として、ご活用いただければと考えております。

分野	項目	チェック内容	チェック欄
1. 啓発の対象者	(1)	対象者の年齢、立場(児童・生徒・学生、保護者、教育関係者など)に適した内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
	(2)	対象者に対して、適した表現が使われているか。	<input type="checkbox"/>
	(3)	情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。	<input type="checkbox"/>
2. ネット利用上のリスク	(4)	取り上げるネット利用のリスク(例えばFLASの7分類)を認識して作成されているか。	<input type="checkbox"/>
	(5)	取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を提示する内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
	(6)	具体的な事例を示すなど、対象者がイメージしにくい(当事者意識を促せる)内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
3. 情報の正確性	(7)	最新の情報が反映されているか。(最新化した内容となっていないか。)	<input type="checkbox"/>
	(8)	提供する情報の正確性が確保されているか。	<input type="checkbox"/>
	(9)	提供する情報の出典元が明らかになっているか。	<input type="checkbox"/>
	(10)	提供する情報が特定の事業者・団体やサービスについての宣伝や中傷になっているか。	<input type="checkbox"/>
	(11)	ネットの利活用を妨げる内容となっていないか。	<input type="checkbox"/>
備	1. 啓発の対象者 (項目中)	0	
	2. ネット利用上のリスク (項目中)	0	
	3. 情報の正確性 (項目中)	0	
	合計 (11項目中)	0	

※チェックが付かなかった項目については啓発教材の見直し・改善が必要と考えられます。
本チェックリストのマニュアルも参考にしてください。

マニュアル

1億人のネット宣言
もっとうぐっどネット

啓発教材自己チェックマニュアル

安心ネットづくり促進協議会
2017年6月

1. 各チェック項目の解説

(3) チェック内容: 情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。

※例えば、フィルタリングを啓発するのであれば、「フィルタリングで防げる内容(画像・動画)」と「防ぎにくい内容(使い方)」の両方に対象が的確に示されているかどうか。

(4) チェック内容: 取り上げるネット利用のリスク(例えばFLASの7分類)を認識して作成されているか。

「FLASの7分類」とは……

- インターネット上の違法コンテンツ、有害コンテンツに適切に対応できる。
 - 違法コンテンツの被害を理解し、適切に対応できる。
 - 有害コンテンツの被害を理解し、適切に対応できる。
- インターネット上で適切にコミュニケーションができる。
 - 情報発信のやり方、適切なコミュニケーションができる。
 - 電子商取引の被害を理解し、適切に対応できる。
 - 利用料金や料金の誤りに対応して利用できる。
- プライバシー保護の適切なセキュリティ対策ができる。
 - プライバシー保護を適切に利用できる。
 - 適切なセキュリティ対策を講じて利用できる。

3. 出前講座一覧の棚卸と検索改善出前講座の一覧化

「無料出前講座一覧」の内容を見直し、検索改善を実施。有料講座についても掲載

(1) 現状：2つの方法で絞込

- ①対象者
- ②フリーワード検索

問題点：

派遣頂きたい講義内容が分からない



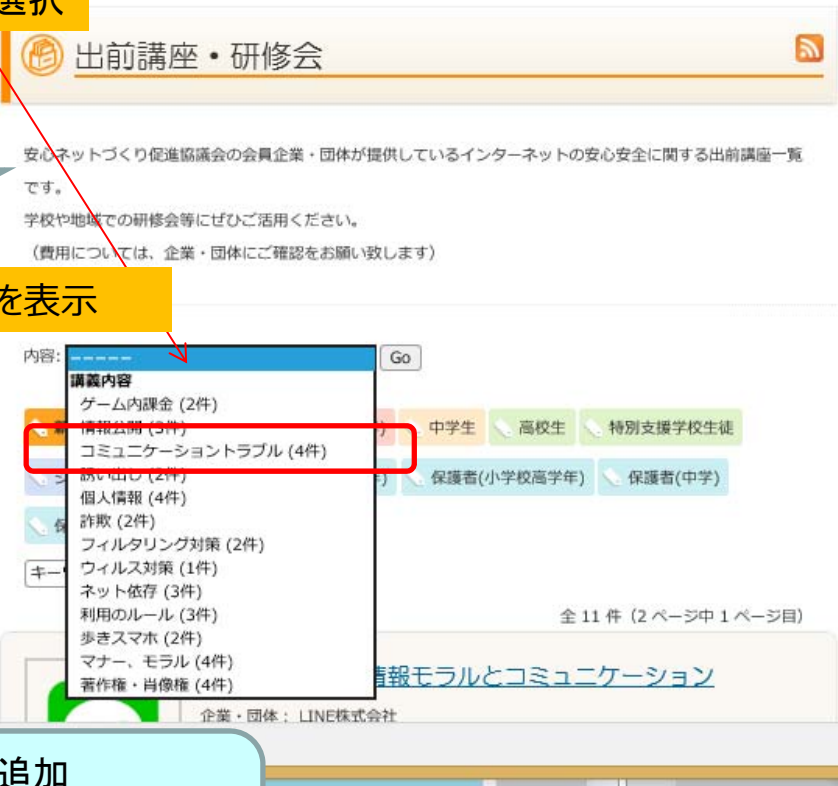
(2) 更新後：講義内容からの検索機能追加

- (1)に加え
- あらかじめ登録してある講義内容から絞込

講義一覧から
受講したい項目を選択



対象の講座・研修を表示



その他の変更点

- ・有料講座の追加
- ・対象者カテゴリーの追加
「保護者(幼稚園・保育園)」

4. 学習コンテンツ一覧の棚卸と検索改善

「関連コンテンツ&リンク集」の内容を見直し、学習コンテンツ一覧の検索改善を実施

※以前は学習コンテンツ（教材）だけを検索する事が難しかった

②一覧への教材種別、使い方を掲載

- ・説明文に、教材の種類（アイコン）を掲載

テキスト教材

映像教材

配布教材

③教材種別での検索

- ・教材種別での絞り込み機能追加
(アイコンを選択することで絞込)

④講義内容からの検索

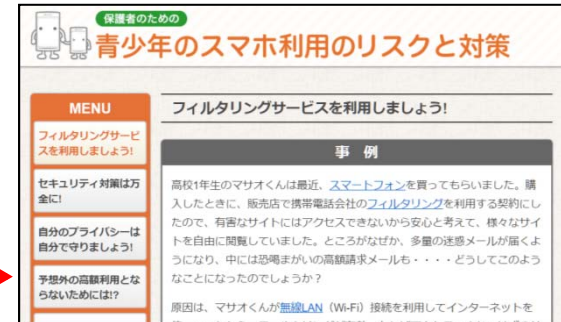
- ・教材の講義内容からの検索機能を追加

教材

The screenshot shows a search results page for '教材' (Learning Content). At the top, there is a green button labeled '教材'. Below it, a search filter dropdown is set to '学習コンテンツ (教材)' with the date '2016年12月1日'. The main content area displays a list of items, including 'インターネットトラブル事例集 (平成28年度版)'. A red box highlights the 'テキスト教材' and '配布教材' icons in the search filter. Another red box highlights the '教材種別' (Content Type) section in the search filter, which lists: テキスト教材 (6件), 配布教材 (7件), 映像教材 (2件), and 指導ガイド (3件). A third red box highlights the '講義内容' (Lecture Content) section, which lists various topics like 'ゲーム内課金', '個人情報', '詐欺', etc. The main content area shows a card for '総務省「インターネットトラブル事例集」' with a description and a '掲載' (Display) button. Below it, another card for 'インターネットを利用する際に、知っておきたい『その時の場面集』' is visible.

6.フィルタリングにかかる啓発

①安心協HPのバナー



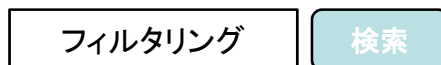
フィルタリングの説明および利用上メリットやリスクについて、安心協Webページ上で説明

②保護者のためのスマートフォン安心安全ガイド






- ◆ 「青少年のスマホ利用のリスクと対策」
 - ・フィルタリング等の説明
 - ・各キャリア毎のサービス説明とリンク（あんしんフィルターへの統一掲載 含む）
 - ・ペアレンタルコントロールの設定方法
 - ・SNSを利用する青少年・保護者への注意喚起（SNS利用注意点はインターネット協会『その時の場面集』へリンク等）

③検索サイト



- ◆ 「青少年の安心安全なインターネット利用のために」

7. 低年齢子ども保護者向け啓発資料策定と展開

<p>成果物</p>	<p>保護者の不安（対応すべきリスク）項目に対するフィルタリング等の関連対策・設定手順書、説明補助資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4ページ版、A4/C4、1月末リリース〔配布物形状：A4両面印刷〕 ・8ページ版、A5/C4、2月末リリース〔配布物形状：A5観音開き印刷〕 <p>→共に、6月改訂版リリース（YouTube KIDS対応）</p>
<p>対象</p>	<p>低年齢層子どもの保護者および保護者向けに啓発を行っている方</p> <p>※ 4ページ版は小学生低学年の保護者、8ページ版は乳幼児の保護者をメインターゲットとして作成したが、子供の年齢を限定せず使えるように配慮</p>
<p>本編内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者へ子供がスマホを使わせる際の注意喚起 ● 保護者の不安（対応すべきリスク）項目に対する対策 <ul style="list-style-type: none"> － 使いすぎについて（依存、健康被害） － 不適切情報に触れることへの対策 ● 技術的な対策例の説明    <ul style="list-style-type: none"> ● 大人向けのスマホチェックシート ● 相談窓口

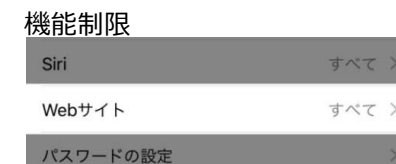
7.低年齢子ども保護者向け啓発資料策定と展開

どんなことに不安を感じていますか？

- ① ネット依存
- ② 対面コミュニケーションへの影響
- ③ 学習・成績への影響
- ④ 身体（目、姿勢、ほか）や健康への影響
- ⑤ ネットいじめ被害／加害
- ⑥ 個人情報の漏えい
- ⑦ 誘い出しや性的被害
- ⑧ 課金
- ⑨ 不適切な情報発信
- ⑩ 不適切な情報に触れること、およびその影響

※ 完璧な防止はできませんが、⑥ ⑧ はウイルス対策で、⑦ ⑧ ⑨ ⑩ はフィルタリングで、不安の軽減が可能です。
また、⑤ についても、SNSへのアクセス制限で緩和できる範囲の不安については、フィルタリングが役立ちます。

設定説明資料



安全な利用環境 = **子供を守る仕組みの導入・設定** + **OS (基本ソフト) や導入ソフトを常に更新**

学齢が低ければ知識不足が、高ければ慣れが原因で、判断ミスやうっかり操作による危険が生じがち。知識や経験の不足を補い、うっかりアクセスを回避してくれるフィルタリングは、トラブルを減らす頼もしい味方です！

不安（リスク）の多くは、ツール（技術）によって軽減可能。
技術に任せられる部分は任せておいて、大人は、それ以外の適切な対応や言葉かけ等に取り組みませんか？

貸し出し機や機種変に伴うお下がり機も含め、お子様が使う機器には安全対策を忘れずに行いましょう。もちろん小型ゲーム機や音楽プレイヤーにも忘れずに！

7. 低年齢子ども保護者向け啓発資料策定と展開（8P版イメージ）



使わせるなら、気をつけたい＆心がけたいこと

子供にインターネットを利用させることによる不安は大人の対応や工夫で軽減できます！

幼い子供がスマホやタブレットを手にしている姿を、いろいろなところで頻繁に見かけるようになりました。「スマホはかり使いたがる」「タブレットがないとどことなくしていてくれない」などの悩みを抱えている保護者も多いようです。

どうしても相手をあきらめられないとき、何気なく手渡したスマホやタブレットにまわってしまっている子供は少なくありません。また、食事の支度中、外出時等に振り回して使わせている、「〇〇のときはスマホが習慣になること！」字の道具として使われているデジタル機器ですが、発達中の身体や視力への影響を心配する方も多く、保護者の懸念も増えています。幼児の遊び道具として用いているとはいえ、安全なデジタル機器を使い、スマホ等はやむを得ないときの代用品と考えましょう。

どうしても相手をあきらめられないとき、何気なく手渡したスマホやタブレットにまわってしまっている子供は少なくありません。また、食事の支度中、外出時等に振り回して使わせている、「〇〇のときはスマホが習慣になること！」字の道具として使われているデジタル機器ですが、発達中の身体や視力への影響を心配する方も多く、保護者の懸念も増えています。幼児の遊び道具として用いているとはいえ、安全なデジタル機器を使い、スマホ等はやむを得ないときの代用品と考えましょう。

安全な利用環境

子供を守る仕組みの導入・設定 ・OS(スマホ/タブレット)や導入ソフトを更新

子供のインターネット利用に関して大人が感じている不安の多くは、今のツール(技術)を活用することによって軽減可能です。ウイルス対策はもちろん、フィルタリング、各種機能制限(ペアレンタルコントロール)等、セキュリティ対策をしっかりと利用し活用し、安心に利用できるようにしましょう。

技術に任せられる部分は任せ、適切な対応や工夫が、大人の力が不可欠な①②③④の不安に向き合うようにしてみませんか？

詳しく子供にとって、スマホやタブレットから得られる情報のすべてが「良質な未知の発見」だと大層な期待を寄せている保護者の方が多い一方で、先に進むには「OK」等がタツツツと利用し活用し、安心に利用できるようにしましょう。

子供を守る仕組みの導入・設定 ・OS(スマホ/タブレット)や導入ソフトを更新

子供のインターネット利用に関して大人が感じている不安の多くは、今のツール(技術)を活用することによって軽減可能です。ウイルス対策はもちろん、フィルタリング、各種機能制限(ペアレンタルコントロール)等、セキュリティ対策をしっかりと利用し活用し、安心に利用できるようにしましょう。

技術に任せられる部分は任せ、適切な対応や工夫が、大人の力が不可欠な①②③④の不安に向き合うようにしてみませんか？

詳しく子供にとって、スマホやタブレットから得られる情報のすべてが「良質な未知の発見」だと大層な期待を寄せている保護者の方が多い一方で、先に進むには「OK」等がタツツツと利用し活用し、安心に利用できるようにしましょう。

お客様の安全利用のためにできること①

フィルタリングのサービスやアプリを活用するには

有害情報等が含まれるWebサイトへのアクセスやアプリの利用を制限するだけでなく、ウイルスや詐欺ほか、悪意の仕掛けや「バックグラウンド」に登録されているようなWebサイトへの「うっかりアクセス」も防止してくれます。

※制限がカテゴリーは、不適、主観、出会い、アダルト、セキュリティ、コミュニケーション、個人情報、オカルト、(設定時に高い年齢対象のレベルを選択すると、制限の一部が緩和されます)

携帯電話会社が提供するフィルタリングサービス

共通名称	NTT docomo	KDDI (au)	SoftBank
あんしんフィルター	for docomo	for au	for SoftBank

注: 2017年2月、各社向け名称は「あんしんフィルター for 〇〇〇」に統一されました

パソコンからMVNO(格安スマホ)まで、さまざまなインターネット接続機器で利用可能

デバイス	サービス名
パソコン	インターネットセキュリティ (カスペルスキー)
ノートンファミリー (シマンテック)	ウルバスターモバイル (トレンドマイクロ)
まもるソク (アクシード)	ファイナル スマホ セキュリティ (AOSテクノロジーズ)

いづれのサービス・アプリも、学習や利用目的に合わせて段階的な設定が可能です。また、個別サイトやアプリだけを利用許可または利用制限するカスタマイズ機能もあります。お子様が使うデジタル機器は、年齢に合わせた設定で安全な環境を整え、成長に伴い設定を更新し、安全を確保しながら徐々に使いやすさを目指してあげましょう。

大人のルールを決めるくらいはできるけれど普段ネットやスマホを使っているとはえあまり詳しくないので、できるのかな...

大丈夫！画面を見ながら「安全な道具に変身」させましょう！！

フィルタリングをはじめ各種設定方法は、提供会社や機種によって異なります。詳細は、携帯電話会社や提供会社のホームページ等の情報をご参照いただくか、販売店や問い合わせ窓口にご相談ください。(一部サービスは有料となります)

考えよう！子育てと子供の成長とデジタル機器

「与え方の工夫」や「心がけたいこと」を知りたいみなさまへ～

身近にあるデジタル機器 どんなことに気をつけたい？

子供にとって毎日の生活は、健康・発達・成長はもちろん、個性や習慣の形成にも影響する貴重な時間です。無限の可能性を秘めた子供たちが健やかに大きく育つよう、デジタル時代の子育てについて考えてみましょう！

子供にとって毎日の生活は、健康・発達・成長はもちろん、個性や習慣の形成にも影響する貴重な時間です。無限の可能性を秘めた子供たちが健やかに大きく育つよう、デジタル時代の子育てについて考えてみましょう！

ネットやスマホについて考えてみましょう

「やり方を覚えるとき」も「使わせる道具」も子供の成長や発達に合わせることで大切にできよう

子供が使う道具も、成長や発達に伴い、危くないよう少しずつステップアップ

！ 気付かれましたか？ 初めから「大人と同じ道具」を、安全に利用できる設定もせず自由に使わせているのは、スマホやタブレットだけなのです！！

スマートフォンやタブレットは大人の道具 幼い子供は「安全に使うための方法」をまだ何も知りません

子供たちがスマホを使っているのは、周囲の大人が使っているから、何でも大人の真似をしたがる時期なので、保護者をはじめとする身近な大人たちの見よう見まねで、「こう使えばいいんだ」と覚えてしまっている。

できれば「正しい使い方」『どんなことに気をつけたいか』『何をしたいか』などを、一緒に使いながら教えてあげることが望ましいですが、難しい場合は、日ごろからお子様の良いお手本となる使い方を心がけましょう。

お客様の安全利用のためにできること②

iPhone, iPad, iPod Touchなどの設定 (Apple iOSの機能制限)

1 ホーム画面 2 設定画面 3 一般画面 4 パスワード入力画面

Webサイトのアクセス許可設定

アプリの導入や利用の許可設定

「アダルトコンテンツ」とは 性的表現、暴力、グロテスク、詐欺など子供の閲覧に不適な有害な内容が含まれる情報を含みます。

全アプリの使用を許可する「しない」、または「アプリのレート(年齢制限)」を選択して使わせることができます。

※例えば、「14」を選択すると、対象年齢以上のアプリが制限されます。利用を許可したWebサイトを個別に設定することも。

お客様の安全利用のためにできること③

スマートフォンやタブレットなど、Android機器のペアレンタルコントロール(保護者による使用制限)設定

Google Playストアの画面上にあるメニュー Google Play をタップ！

1 メニュー一覧 2 設定画面 3 ペアレンタルコントロール画面 PINの入力画面

PIN設定の後、アプリとコンテンツの設定をしてください (ついでに⑤の設定画面で「購入時に承認が必要」の設定もしておきましょう！)

利用時間をコントロールするには

インターネット利用に伴う「依存」は、お子様の年齢問わず、多くの保護者が不安を感じているようです。小さい頃に身につけてしまった習慣を、大きく変わって改善するのはとても大変！今のうちから「頻りに使う習慣」がつかないよう、デジタル機器に頼りすぎず、保護者の声かけや与え方の工夫を心がけましょう。

また、一日の中で利用している時間や、通話・インターネット・ゲームアプリなどを使えない時間帯を設定できるアプリや機器もあります。寝る前の利用は良い睡眠の妨げになると言われていますから、こういった仕組みも上手に活用しましょう。

お客様の安全利用のためにできること④

「YouTubeで見ることができる動画」から 子供に不適切なものを除外する方法

お子様が観ている動画、気がかりではありませんか？ そんな不安には、YouTubeの「制限付きモード」をオンにすると、子供向けに安全かつ使いやすい「KIDS」の導入がオススメです！でも、保護者の機器にあるYouTubeアイコンを「買す」都度消すのは面倒と思ったり、念のためYouTube サイトやアプリの設定で「制限付きモード」をオンにしておきましょう！

【Webサイト】YouTube トップページの一画下 ▶ 制限付きモードをオンにする

【iOSのアプリ】メニューの設定 ▶ 制限付きモードフィルタを強にする

【Androidのアプリ】設定 ▶ 全般 ▶ 制限付きモードを「ON」

インターネットを安全に利用するために

大人のための「情報モラル＆マナー」チェックシート

子供の成長・安全を配慮しつつ、お手本となる使い方をしていますか？

子供に「ちょっと待って...」なのに、着信音にはすぐ対応していませんか？

子供と話をすると、スマホと対話している時間のほうが多くなっていませんか？

食事の支度中、スマホやタブレットで遊ばせることが習慣化していませんか？

大人同士の話が聞けられそうとき、つい、スマホを触らせていませんか？

設定や課金のパスワードを、誕生日やわかりやすい数字にしていますか？

日ごろ(特に子供と一緒に外出時等)、歩きながらスマホをしていますか？

先生や友人・知人の悪口を、子供の前で言ったり書いていませんか？

自身の個人情報や子供の写真・動画を、ブログやSNSに載せていませんか？

子供が使うデジタル機器には、年齢に合った安全な設定をしていますか？

健康・発達のために、デジタル機器の影響を軽減する工夫をしていますか？

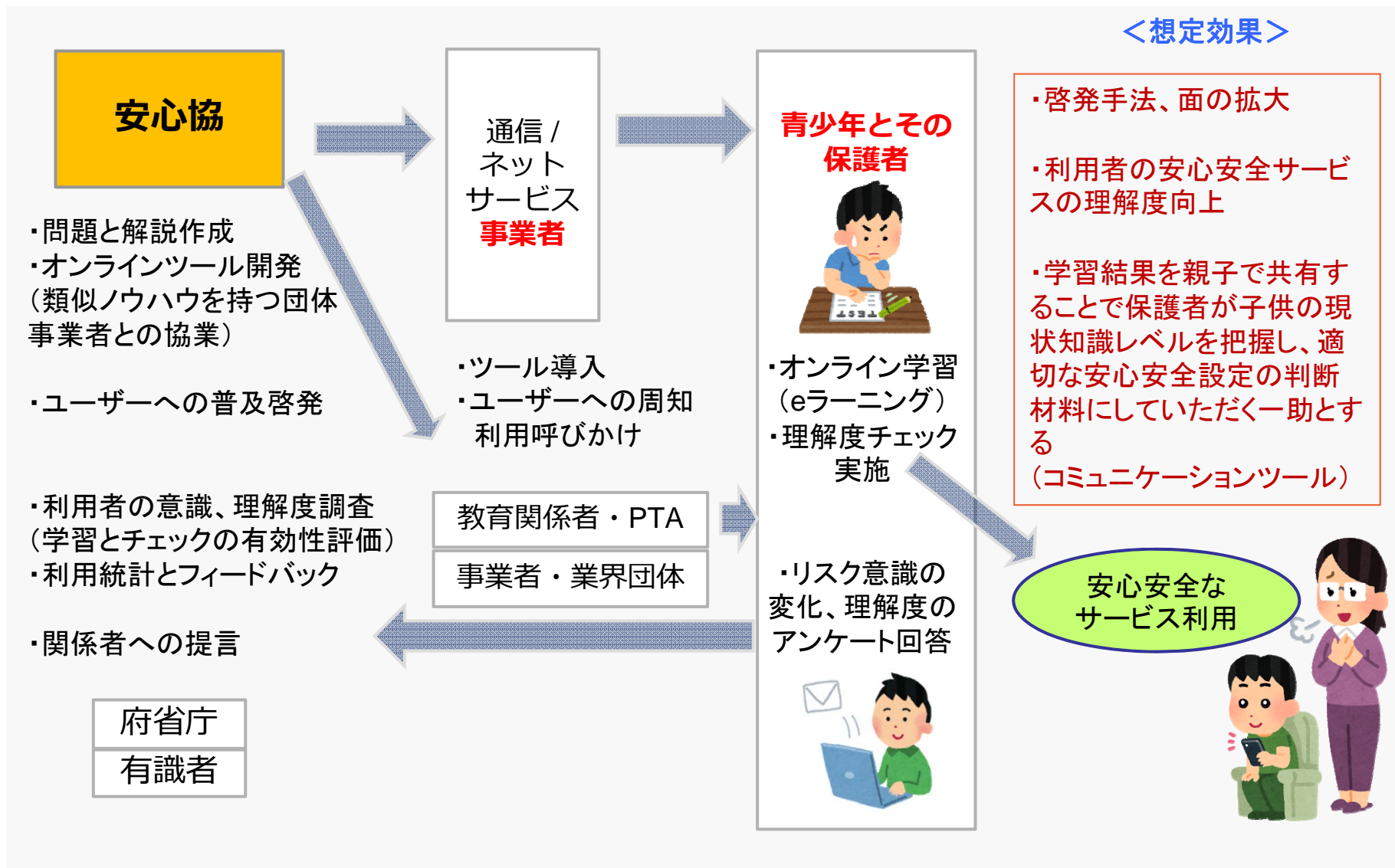
設定の質問からトラブル対応まで、お役立ち相談窓口一覧

違法・有害情報相談センター	https://www.hiho.jp/guide/
警察庁 インターネット安全・安心相談	https://www.npa.go.jp/cybersafety/
24時間子供SOSダイヤル(文部科学省)	0120-0-78310
消費者ホットライン(消費者庁)	188(局番なし)
子どもの人権110番(法務省)	0120-007-110
NTT docomo	0120-800-000
KDDI (au)	0077-7-1111
Softbank	0800-919-0157

1億人のネット宣言 安心ネットづくり促進協議会 http://www.good-net.jp/

8. 利用者の学習支援とリテラシー評価

<情報モラル・リテラシー学習とアセスメントイメージ>



APPENDIX

啓発教材自己チェックリスト



会社名:	
教材名:	
実施日:	

自己チェックの目的

1. ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検(セルフチェック)を行い、教材の改善を図っていくことで、一般的な啓発教材の質の向上を目指します。
2. 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

本チェックリスト利用上の注意点

本チェックリストは、教材作成を行う上で作成者自らが最低限考慮すべきポイントが盛り込まれているかを確認する事ができるようにチェックリスト形式でまとめたものです。啓発活動を行うための運営体制までは深く言及しておりません。また、点数による比較・評価を目的としたものではありません。教材を作成したり、改善されたりする際の目安として、ご活用いただければと考えております。

分野	項目	チェック内容	チェック欄
1. 啓発の対象者	(1)	対象者の年齢、立場(児童・生徒・学生、保護者、教育関係者など)に適した内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
	(2)	対象者に対して、適した表現が使われているか。	<input type="checkbox"/>
	(3)	情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。	<input type="checkbox"/>
2. ネット利用上のリスク	(4)	取り上げるネット利用のリスク(例えば「ILASの7分類」など)を意識して作成されているか。	<input type="checkbox"/>
	(5)	取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を導き出せる内容になっているか。	<input type="checkbox"/>
	(6)	具体的実例を示すなど、対象者がイメージしやすい(当事者意識を持てる)内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
3. 情報の正確性	(7)	最新の情報が反映されているか。(陳腐化した内容となっていないか。)	<input type="checkbox"/>
	(8)	提供する情報の真正性が維持されているか。	<input type="checkbox"/>
	(9)	提供する情報の出典元が明らかになっているか。	<input type="checkbox"/>
	(10)	提供する情報が特定の事業者・団体やサービスについての宣伝や中傷になっていないか。	<input type="checkbox"/>
	(11)	ネットの利活用を妨げる内容となっていないか。	<input type="checkbox"/>
計	1. 啓発の対象者 (3項目中)		0
	2. ネット利用上のリスク (3項目中)		0
	3. 情報の正確性 (5項目中)		0
	合計 (11項目中)		0

※チェックが付かなかった項目については啓発教材の見直し・改善が必要と考えられます。本チェックリストのマニュアル等も参考にしてください。

啓発教材自己チェックマニュアル

安心ネットづくり促進協議会

2017年6月

1. 本チェックリストの目的

- (1) ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検（セルフチェック）を行い、教材の改善を図っていくことで、全般的な啓発教材の質の向上を目指します。
- (2) 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

2. 本チェックリストの対象

各地域において研修会のファシリテーター（地域の関係者を取りまとめたり、研修リーダーをされたりしている方等）として活躍されている皆さま、企業及び関係団体が、ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材を対象としております。

3. 本チェックリスト利用上の注意点.

本チェックリストは、教材作成を行う上で作成者自らが最低限考慮すべきポイントが盛り込まれているかを確認する事ができるようにチェックリスト形式でまとめたものです。啓発活動を行うための運営体制までは深く言及しておりません。

また、点数による比較・評価を目的としたものではありません。教材を作成したり、改善されたりする際の目安として、ご活用いただければと考えております。

1. 各チェック項目の解説

(1) チェック内容	対象者の年齢、立場（児童・生徒・学生、保護者、教育関係者等）に適した内容となっているか。
---------------	--

- 受講者の年齢・学年などと、講座の内容があっているかどうか。
- 青少年、保護者、教育関係者（教員・教育行政など）といった、受講者の属性を意識した内容になっているかどうか。

(2) チェック内容	対象者に対して、適した表現が使われているか。
---------------	------------------------

- 受講者に対して分かりやすい言葉で表現されているかどうか。
- 受講者にあわせた解説や注釈がなされているかどうか。
- 受講者にあわせた漢字が使われているかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(3) チェック内容	情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。
---------------	--

- 例えば、フィルタリングを啓発するのであれば、「フィルタリング等で防げる内容（技術・機能）」と「防げない内容（使い方）」のように対策が的確に示されているかどうか。

(4) チェック内容	取り上げるネット利用のリスク（例えば「ILASの7分類」など）を意識して作成されているか。
---------------	---

「ILASの7分類」とは……

1. インターネット上の違法コンテンツ、有害コンテンツに適切に対処できる。
 - a. 違法コンテンツの問題を理解し、適切に対処できる。
 - b. 有害コンテンツの問題を理解し、適切に対処できる。
2. インターネット上で適切にコミュニケーションができる。
 - a. 情報を読み取り、適切にコミュニケーションができる。
 - b. 電子商取引の問題を理解し、適切に対処できる。
 - c. 利用料金や時間の浪費に配慮して利用できる。
3. プライバシー保護や適切なセキュリティ対策ができる。
 - a. プライバシー保護を図り利用できる。
 - b. 適切なセキュリティ対策を講じて利用できる。

1. 各チェック項目の解説

(5) チェック内容	取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を導き出せる内容になっているか。
---------------	--

- ・リスクを紹介するだけにとどまらず、具体的な解決策を説明したり、参加者の議論の中で導き出したることができるような内容となっているかどうか。

(6) チェック内容	実例を具体的に示すなど、対象者がイメージしやすい（当事者意識を持てる）内容となっているか。
---------------	---

- ・抽象的な概念だけを提示するのではなく、具体的なトラブルや事件の事例、適切な対策方法などが提示されているかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(7) チェック内容	最新の情報が反映されているか。(陳腐化した内容となっていないか。)
---------------	-----------------------------------

- 内容を定期的に見直し・修正を行っているかどうか。

(8) チェック内容	提供する情報の真正性が維持されているか。
---------------	----------------------

- 投影資料や配布物などで利用される事例や図、調査内容などの情報に関して、正しい情報であることが担保されているかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(9) チェック内容	提供する情報の出典元が明らかになっているか。
---------------	------------------------

- 外部から資料を引用する場合、出典が明示されているかどうか。
- 引用する内容について著作権法を遵守しているかどうか

(10) チェック内容	提供する情報が特定の事業者・団体やサービスについての宣伝や中傷になっていないか。
----------------	--

- 偏った意見や個人的な見解が含まれている場合は、その旨を提示しているかどうか。
- 特定の事業者や団体、アプリなどのサービスに対する宣伝に偏った内容であったり、誹謗中傷につながるような内容であったりしていないかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(11) チェック内容	ネットの利活用を妨げる内容となっていないか。
----------------	------------------------

- ネットを適切に利活用することを促進するための内容になっているかどうか。
（「使う＝悪」と誤解させないこと）
- 受講者が前向きに取り組める内容となっているかどうか。

インターネットを安全に利用するために

～ サービスや設定を知りたいみなさまへ～

子供たちの「ネットトラブル予防策」 身近な大人にできることは、たくさんあります！

現代社会では欠かせない道具となったインターネット。
でも、お子様の利用にはさまざまな不安がありませんか？

お子様の安全な利用のためには、学齢や成長段階に応じて
使わせ方を工夫するとともに、インターネット接続可能な
機器を与えるタイミングやフィルタリング設定、機能制限
など、適切な利用環境づくりを心がけましょう。



また、普段から正しい使い方をお手本を示すことは
もちろん、ちょっとした不安から万が一のトラブルまで、
困ったときには気軽に相談できる大人であることも大切。
日ごろのコミュニケーションがお客様の安全を守ります。



どんなことに
不安を感じて
いますか？

- | | |
|---------------|------------------------|
| ① ネット依存 | ② 対面コミュニケーションへの影響 |
| ③ 学習・成績への影響 | ④ 身体（目、姿勢、ほか）や健康への影響 |
| ⑤ ネットいじめ被害/加害 | ⑥ 個人情報の漏えい |
| ⑦ 誘い出しや性的被害 | ⑧ 課金 |
| ⑨ 不適切な情報発信 | ⑩ 不適切な情報に触れること、およびその影響 |

※ 完璧な防止はできませんが、⑥⑧はウイルス対策で、⑦⑨⑩はフィルタリングで、不安の軽減が可能です。
また、⑥に関して、SNSへのアクセス制限で緩和できる範囲の不安については、フィルタリングが役立ちます。

安全な利用環境
学齢が低いほど「知識・経験不足」が、高ければ「慣れ」が原因で、判断ミスや
うっかり操作による危険が生じがち。知識や経験の不足を補い、うっかりアクセス
を回避してくれるフィルタリングは、トラブルを減らす頼もしい味方です！
＝ **子供を守る仕組みの導入・設定** + **OS（基本ソフト）や導入ソフトを常に更新**

子供のインターネット利用に関して大人が感じている不安の多くは、今あるツール
（技術）を活用することによって軽減可能です。
ウイルス対策はもちろん、フィルタリング、各種機能制限（ペアレンタルコントロール）等、
せっかくある「守ってくれる仕組み」を利用しないのは勿体ない！
技術に任せられる部分は任せておいて、適切な対応や言葉かけなど、
大人の力が不可欠な①②③④⑤の不安に向き合うようにしてみませんか？

貸し出し機や機種変に伴うおさがり機も含め、お子様が使う機器には安全対策を忘れず
に行いましょう。もちろん、小型ゲーム機や音楽プレイヤー等への対策も忘れないで！

<具体的な設定例は裏面を参照>

1億人のネット宣言
もっとグッドネット
安心ネットづくり促進協議会
<http://good-net.jp/>

安心協 検索Q

お子様の安全利用のためにできること③



貸し出し機やおさがり機も含め、年齢や成長に応じて利用環境を調整しましょう。安心ネットづくり促進協議会

フィルタリングのサービスやアプリを活用するには

有害情報※等が含まれるWebサイトへのアクセスやアプリの利用を制限するだけで
なく、ウイルスや詐欺ほか、悪意の仕掛けがあり「ブラックリスト」に登録されて
いるようなWebサイトへの“うっかりアクセス”も防止してくれます。

※制限カテゴリは、不法、主張、アダルト、出会い、グロテスク、セキュリティ、ギャンブル、コミュニケーション、
成人嗜好、オカルト。（設定時に高い学齢対象のレベルを選択すると、制限の一部が緩和されます）

●携帯電話会社が提供するフィルタリングサービス

共通アイコン & 共通名称	NTT docomo	KDDI (au)	SoftBank
あんしんフィルター	for docomo	for au	for SoftBank

注：2017年2月、各社のサービス名称は「あんしんフィルター for ○○○」に統一されました

●フィルタリングアプリ（フィルタリングソフト）

パソコンからMVNO（格安スマホ）まで、さまざまなインターネット接続機器で利用可能

いフィルター [デジタルアーツ]	インターネットセキュリティ [カスペルスキー]
ノートン ファミリー [シマンテック]	ウイルスバスターモバイル [トレンドマイクロ]
まもるゾウ [アクシード]	ファイナル スマホ セキュリティ [AOSテクノロジーズ]

いずれのサービス・アプリも、学齢や利用目的に合わせて段階的な設定が可能です。
また、個別サイトやアプリだけを利用許可または利用制限するカスタマイズ機能もあります。
お子様が使うデジタル機器は、成長段階や利用状況に応じて、設定を調整してあげましょう。

利用時間をコントロールするには

多くの保護者が不安を感じ、心配している「ネット依存」。
お子様に適切な声かけをすると共に、通話・インターネット・
アプリを利用させたくない時間帯（夜間等）を設定する機能
もありますので、使い過ぎの防止にお役立てください。



フィルタリングや時間制限の設定方法は、提供会社や機種により異なります。
詳細については携帯電話会社や提供会社のホームページをご参照いただくか、
販売店や問い合わせ窓口にご相談ください。（一部サービスは有料となります）

◆ 子供と一緒に「ルールづくり」、成長段階に応じて「ルール改定」
◆ ブルーライトの影響を軽減させる工夫（保護フィルムやアプリ）
…など、安全や健康を守るためにできることはまだまだあります。
不安を抱えたままにしないで、できることから始めてみませんか？
制作：安心ネットづくり促進協議会 <http://good-net.jp/> 監修：尾花紀子【2017年6月 改訂版】

お子様の安全利用のためにできること①

1億人のネット宣言
もっとグッドネット

貸し出し機やおさがり機も含め、年齢や成長に応じて利用環境を調整しましょう。安心ネットづくり促進協議会

お子様の安全利用のためにできること②

1億人のネット宣言
もっとグッドネット

貸し出し機やおさがり機も含め、年齢や成長に応じて利用環境を調整しましょう。安心ネットづくり促進協議会

iPhone, iPad, iPodTouchなどの設定 (Apple iOSの機能制限)

1 ホーム画面
「設定」をタップ

2 設定画面
「一般」をタップ

3 一般画面
「機能制限」をタップ

4 パスコード入力画面
4桁または6桁の数字を入力

ウェブサイトのアクセス許可設定

5 機能制限 (下にスクロールし「Webサイト」をタップ)

6 Webサイト
アクセスを許可するWEBサイト
すべてのWebサイト
アダルトコンテンツを制限
指定したWebサイトのみ

「アダルトコンテンツ」とは性的表現、暴力、グロテスク、詐欺など子供の閲覧に適さない有害な内容が含まれる情報を言います。

「アダルトコンテンツを制限」に✓を入れた後は、一部のゲームサイトが利用できなくなる可能性があります。利用を許可したいWebサイトを個別に設定することもできるので、併せて活用しましょう。

アプリの導入や利用の許可設定

5 機能制限

6 App

お子様の年齢に合わせて使用許可のチェックを!

全アプリの使用を許可する・しない、またはアプリのレート(年齢制限)※を選択して使わせるという設定ができます。

※例えば、「4+」を選択すると、対象年齢9歳以上のアプリが制限されます。同様に、「9+」「12+」を選択すると、それぞれ、12歳以上、17歳以上のアプリが制限されます。

Android機器 (スマートフォンやタブレット) のペアレンタルコントロール

GooglePlayストア左上にあるメニュー・アイコン

設定

保護者による使用制限

暗証番号を作成した後、アプリとコンテンツを設定

「YouTubeで見ることができる動画」から子供に不適切なものを除外する方法

お子様が観ている動画、気がかりではありませんか? そんな不安には、子供の動画視聴はこのアイコンから! 子供向けに安全かつ使いやすく開発されたYouTube KIDSの導入がオススメです♪

でも、保護者の機器にあるYouTubeアイコンを貸す都度消すのは面倒と思うなら、念のためYouTubeサイトやアプリの設定で「制限付きモード」をオンにしておきましょう!

【Webサイト】YouTube トップページが一番下 ▶ 制限付きモードをオンにする

① 「制限付きモード」をクリック

② 「オン」を選択

③ 忘れずに「保存」をクリック

YouTubeのアカウントがあれば、ログインすることにより制限付きモードをロックすることが可能。

ロックをするなら、パスワードの管理をしっかりと!

【iOSのアプリ】メニューの設定 ▶ 制限付きモードフィルタを強にする

制限付きモードフィルタ

制限付きモードフィルタを強にする

【Androidのアプリ】設定 ▶ 全般 ▶ 制限付きモードを「ON」

制限付きモード

制限付きモードを有効にすると、ユーザーの報告やその他の指標により不適切と判断されたコンテンツを含む動画は表示されません。どのフィルタも100%正確だとは言えませんが、これで通常ほとんど不適切なコンテンツは除外できます。